

# 豊かな財政は区民生活中心に

第三回定例区議会は、九月十三日から十月四日まで開かれました。今議会は、二〇〇六年度(平成十八年度)決算の審議も行われました。日本共産党区議団は、日頃みなさんからお寄せいただいた要望、意見を区政に反映させるため、審議にのぞみました。主な問題についてご紹介します。

**再開発への補助金支出はやめよ**

区議団は、深刻となっている区民生活を支えるため、港区の「豊かな財政をつかうべき」と要求しています。

貧困と格差の広がりは、社会問題にもなっています。ここ三年連続して負担増が押しつけられ、住民税や保険料の値上げの知らせに六千件以上の苦情が区に殺到したように、区民の暮らしは大変です。

区議団は、区民生活を少しでも守るため、痛みやわらげ手当支給条例、区税条例の改正、心身障害者福祉手当条例の改正、小中学校入学準備金支給条例を提案しています。決算審議でも実施を求めましたが、区長は実施する意向のないことを表明しました。一方、森ビル

**後期高齢者医療制度の抜本的見直しを 年間平均一萬五千円の保険料に**

自民・公明政権が強行した「後期高齢者医療制度」が四月から実施されます。

区議団は、様々な問題があるため、抜本的な見直しを国に要求するよう求めました。

問題点は、①七五才以上の人たち、給与所得者の扶養家族も含め、新たに保険料の徴収が行われること。保険料は、厚生省試算で月額平均六千二百円。東京は月額平均九千六百円

が年金から天引きされます。②保険料が払えなければ、保険証が取り上げられ、窓口で全額払わなければ医者にかかれなくなります。③二年毎に保険料が上がる仕組みになっていること。④診療報酬に病気になる包括払いを導入し、医療に制限を設けること。病院が必要な治療をやっても、回数に関係なく、一定の診療報酬しか支払われません。



後期高齢者医療制度の保険料と国保の保険料の比較

年金収入	後期高齢者医療制度保険料	特別区の国保料	
		金額	増減率
～153万	11,670	10,530	10.8%
～168万	17,438	12,142	43.6%
～193万	40,598	24,944	62.8%
～238万	79,183	50,106	58.0%
～288万	123,490	87,335	41.4%
～約341万	161,940	127,868	26.6%
～約407万	200,390	168,788	18.7%

東京都後期高齢者医療広域連合資料をもとに作成(年額 円)



防護ネットに覆われた西麻布福祉会館

**西麻布福祉会館の早期建替えを**

八月十三日、西麻布福祉会館の歩道側の外壁コンクリートに亀裂が入り、一部が落下しました。

決算委員会で、老朽化がすすんでいる西麻布福祉会館、保育園、児童館などを、早急に建替えるよう質問しました。

担当課長は、「防護ネットを被せ、歩道への落下を防ぐ工事をした。これは応急手当的なもので、早急に壁面を補修する。建替えについては、仮設のための代替地を早急に決め、平成二十年度中に仮設に引越し、建替えの基本構想・計画に着手する」予定だと答えました。

## なんでも相談会

☆毎月第3月曜日、午後6時30分より 青山福祉会館 (南青山2-16-5)  
 ☆事前にご連絡いただくと幸いです。☆連絡先…風見宅Tel3400-5015 控室Tel3578-2945

風見利男 (日本共産党 港区議会議員) 区政とあなたを結ぶ 136

メール ● kazami@jcp-minatokugidan.gr.jp  
 HP ● http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp/

政治革新の道しるべ 真実つたえ希望はこぼ

**しんぶん 赤旗**

日刊 ● 月2,900円  
 日曜版 ● 月800円

## 青山小学校の運動会

九月二二日、九月後半とは思えないほどの強い日差しの中、青山小学校の運動会が行われました。子どもたちは元気いっぱい、競技、演技を行い、観客席から惜しみない拍手、喚声が上がりました。

近隣の幼児の可愛い五・六年生騎馬戦、父母・先生の競技など、秋の一日、



地域の交流の場となりました。

裏面もご覧下さい。

# 氷川山車の復元にさらなる支援を



赤坂通りを巡行する氷川山車

修復されました。よみがえった山車は、氷川祭に先立ちミッドタウンに展示され、九月十六日には、大勢の人達が見守る中、こどもを含む多くの人たちの手で、赤坂のまちを巡行しました。

党区議団はこの間、氷川神社に保存されていた九台の山車の復元への支援について質問・提案してきました。その結果、氷川山車の修復・復元のために設立された「NPO法人赤坂氷川山車保存会」が、今年「翁二人立」の修復を決めたことから、修復費用の八割の補助を行い、山車が立派に

## 妊婦健診の公費負担が拡大

党区議団の質問で、〇八年度から、妊婦健診の公費負担の回数や検診項目を増やすことを検討していることが、明らかになりました。党区議団は、二回の公費負担を十四回に拡大するよう要求してきました。港区では昨年度から、妊娠二四週以降の妊婦健診費用を三



江戸期のものが残されており、文化財として評価できる」との認識を示し、「今後とも赤坂地区総合支所と連携を取りながら、所有者の同意を得て調査を実施」していくと答えました。

## フッ素塗布の無料化、年齢拡大

四才のこどもを対象に実施している「すこやかちゃんフッ素塗布」の無料化と年齢の拡大を求めました。担当課長は、「フッ素塗布は歯の健康づくりにおいて大変重要である。来年度に向けて、自己負担の廃止と年齢の拡大」を前向きに検討することを明らかにしま



## 「ちいばす」の無料乗車券 70才以上・妊産婦などにも支給

十月一日から、「コミュニティバス「ちいばす」」の無料乗車券が、七十才以上(住民税非課税の方)の方や妊産婦などにも支給されることになりました。これは、党区議団が、予算・決算委員会など機会ある毎に提案してきたことが実ったものです。それは、区内を走っていた都営バス路線の廃止・縮小が続ぎ、都バスに乗る機会が減ったためにシルバーパスの購入をやめたり、二万五百十円も出してシルバーパスの購入をやめる人が、多くでる事



## 高齢者のインフル予防接種 無料に

六十五才以上の方の「インフルエンザ予防接種が無料になる」とのお知らせと、「接種記録票」が届いていますか。昨年度まで、六十五才以上の方が予防接種を受ける場合、接種費用の内二千二百円は自己負担でした。それが、今年から無料で受けられることになりました。



## 子ども中高生プラザで、こども相談室の開設を

決算委員会で、いじめや親の暴力など、だれにも言えずに悩んでいるこども達が、気軽に相談できるよう、「こども中高生プラザ」に(仮称)「こども相談室(電話相談も含む)」を、早急に開設するよう質問しました。区長は、「今後展開する子ども中高生プラザの事業のあり方とともに検討していく」と答弁しました。現在、港南子ども中高生プラザでは、館内に「相談ボックス」を設け

